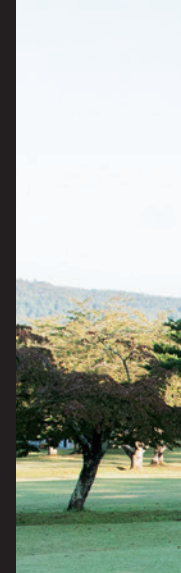
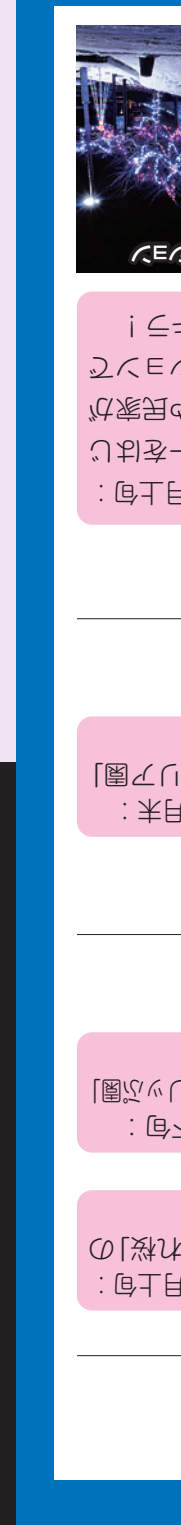


このまち まるごと まるごと



まるごと

年間イベント・見どころ	
毎年1月1日	川原町裸参り
2月中旬	まける市
4月下旬～5月上旬	「檜沢の枝垂れ桜」の見ごろ
4月下旬～5月上旬	見ごろ
5月上旬～下旬	見ごろ
5月11日～5月12日	「正子のチヨウリツ公園」田植え・田の草取り・噴と踊り
7月下旬	ピクニック
8月上旬	このへ夏まつり(花火大会)
8月下旬～9月上旬	五戸まつり
8月1日～10月末	【このへ夏まつり】開園時期
10月中旬	夢の森収穫感謝祭&倉石牛肉まつり
11月上旬	五戸町産業と文化まつり
12月上旬～1月中旬	TOWN'S「リズムショー」メロトワリーをはじめ、基本に、収穫した農産物を素材に一緒に料理を楽しむのも特徴です。
12月中旬	五戸町でのしかでかな体験をしてみませんか？
12月下旬～1月	五戸町「このへ」マロニエ・ツリー・ツラツラ
12月中旬	五戸町「このへ」マロニエ・ツリー・ツラツラ
12月中旬	五戸町「このへ」マロニエ・ツリー・ツラツラ

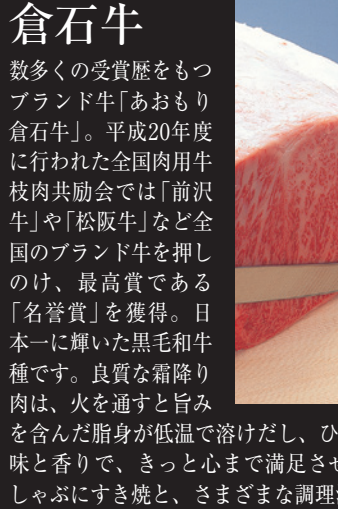


青森このへグリーン・ツラツラ



馬肉

馬肉といえば五戸、と言われるほど、青森県内外でも高い知名度を誇る、五戸自慢の特産品。別名桜肉とも呼ばれ、一説には馬肉の赤身が桜の花を想像させることに由来していると言われます。馬肉料理の定番としてお刺身や焼肉、さらにしゃぶしゃぶもおすすめて。馬肉は低カロリー、低脂肪、低コレステロール。高たんぱく質と、栄養価が高い上に食べても太りにくいことから、ヘルシーなお肉として人気があります。また、鉄分やグリコーゲンを多く含むため肝臓や貧血にも良いと言われ、健康食品としても優秀な食材です。



倉石牛

数多くの受賞歴をもつブランド牛「あおり倉石牛」。平成20年度に行われた全国肉用牛枝肉協会では「南沢牛」や「松阪牛」など全国のブランド牛を押し、最高賞である「名譽賞」を獲得。日本一に輝いた黒毛和牛種です。良質な霜降り肉は、火を通すと旨みを含んだ脂身が低温で溶けだし、ひとくち食べれば口の中で広がる柔らかな味と香りで、きっと心まで満足させてくれます。ステーキ、焼肉、しゃぶしゃぶにすき焼と、さまざまな調理法でその魅力をご堪能ください。

青森シャモロック

平成2年、青森県畜産試験場養鶏部によって、最高品質の肉用地鶏を目指し、研究・開発され誕生したのが「青森シャモロック」です。青森シャモロックは、他の地鶏と比較してグルタミン酸とイノシン酸の含有量が多く、味が濃くダシがよく出るため鍋料理等には最適で、長時間煮ても旨味が保持されます。また、肉そのものの味が良いので、焼いて食べると素材本来の美味しさが実感できます。肉にしまりがあり、味にこくがあるので、和・洋・中あらゆる調理法に対応できる、まさに「万能の鶏肉」です。

りんご(紅玉)

小ぶりで見つ赤い色が特徴の「紅玉」。りんご本来の酸味と甘さが、りんご通に人気です。紅玉は調理加工にも適していますので、アップルパイなどのお菓子や料理にもおすすめです。



長いも

しゃきしゃきした歯ざわりが心地良く、さっぱりとした後味。ビタミンB1や食物繊維が多く含まれています。消化もよく、疲労回復にも効果的で、元気のなる野菜として親しまれています。



にんにく

全国的にも評価が高い青森県のにんにく。五戸町でも生産されている特産品です。大地の栄養をしっかりと蓄えたにんにくは、そのまま焼いて食べてもおいしい健康野菜です。

さくらんぼ

糖度が高く、品質も良いと評価されているコルトさくらんぼ。農家の研究と努力によって実った、小さな宝石のようなフルーツです。毎年夏に収穫され、お土産や贈答品として人気です。



菊 駒

明治43年創業。菊作りの名人でもあった四代目久次郎により、昭和初期に菊と五戸名産の馬(駒)を組み合わせた「菊駒」と改めました。地元で大切にされ、育まれてきた味。地元で愛されてこそ、銘酒の想いで、酒造りをしています。



如 空

五感で醸す手造り、低温長期発酵の南部流儀と十号酵母に、頑固一徹にこだわって「ピュアで端麗」「ふくよかな旨み」「喉越しのいい後味」をさらに磨き「五戸」ならではの新しい地酒の旨さに挑戦してまいります。



りんごジュース

五戸では、特産の真つ赤なりんご「紅玉」を加工した商品が、数多く生産されています。中でもりんごジュースはお土産として人気が高い商品。すっきりした後味をおすすめて。

アピオス

根菜類の生産が盛んな南部地方。中でも北米原産の「アピオス」は、ジャガイモと比較して、カルシウム、鉄などを多く含む、栄養価が高いです。南部地方では「ホドイモ」と呼ばれ昔から親しまれています。



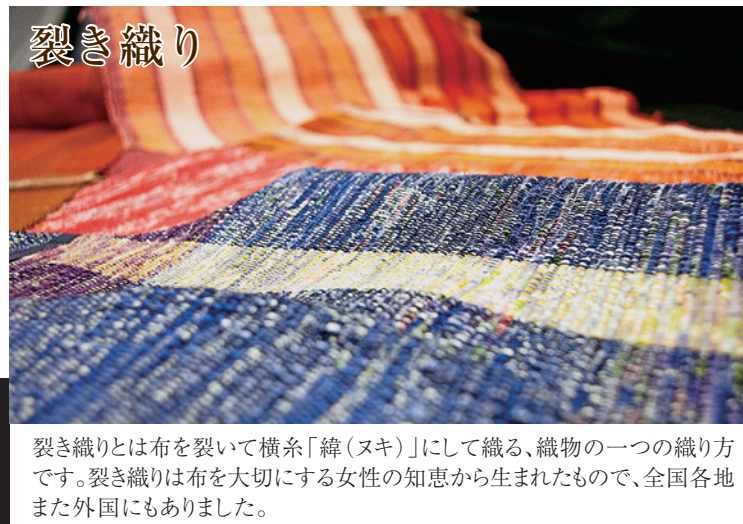
五戸ばおり

五戸ばおりとは、い草を使って丁寧に編まれた農業用の編み笠です。軽くて、少々雨にも耐えられるため重宝されました。



南部菱刺し

菱刺しは偶数の目を数えて刺していきます。1段目を刺し終えると、2段目、3段目と順に刺していきます。ここがごん刺しの大きな違いです。従って、できあがった模様は横長の菱形の繰り返しとなり、菱形の平面で構成された2次元の世界の模様といえます。



裂き織り

裂き織りは布を裂いて横糸「緯(ヌキ)」にして織る、織物の一つの織り方です。裂き織りは布を大切にしている女性の知恵から生まれたもので、全国各地また外国にもありました。

交通アクセス

ACCESS INFORMATION

【交通のご案内】

- JR八戸駅から車で20分
- 三沢駅から車で40分
- 三沢空港から車で50分
- 八戸ICから車で30分

【近隣観光地へのアクセス】

- 十和田湖まで車で70分
- 奥入瀬渓流まで車で50分
- 八戸種差海岸まで車で60分
- 小川原湖まで車で80分
- 八甲田山(酸ヶ湯)まで車で80分

【バス・タクシー】

岩手県北自動車 電話 0178-62-3211
岩手県南自動車 電話 0178-62-3141
三三五観光ハイヤー 電話 0178-62-2161
五戸タクシー 電話 0178-62-3271
平和タクシー 電話 0178-62-5040
よつばタクシー 電話 0178-62-5040

五戸町観光協会
〒039-1548 青森県三戸郡五戸町字新町24-1 TEL 0178-62-7155

五戸町企画振興課
〒039-1513 青森県三戸郡五戸町字古館21-1 TEL 0178-62-2111

自慢の特産品

① 桜餅 ② りんごジュース ③ 如空・菊駒 ④ 如空・菊駒 ⑤ 煎餅 ⑥ 南部せんべい ⑦ 五戸駄菓子 ⑧ 雑穀 ⑨ かつい ⑩ 雑穀 ⑪ 五戸駄菓子

① 桜餅 ② りんごジュース ③ 如空・菊駒 ④ 如空・菊駒 ⑤ 煎餅 ⑥ 南部せんべい ⑦ 五戸駄菓子 ⑧ 雑穀 ⑨ かつい ⑩ 雑穀 ⑪ 五戸駄菓子

店舗・施設電話番号一覧

馬肉料理	0178-62-3016
彫形精肉店	0178-62-3016
ラストさ木	0178-62-6401
佐本精肉店(販売のみ)	0178-62-2413
五戸まきは温泉	0178-62-5511
松元へたかし	090-5838-2789
倉石牛	0178-62-5511
五戸駄菓子	0178-77-2456
美子房三福	0178-62-3034
なんばんみそ	0178-62-3034
ながの	0178-62-7333
はちま	0178-62-2283
馬鹿部養蜂場	0178-62-2754
平葉養蜂場	0178-62-2754
養蜂	0178-62-2760
山部米穀店	0178-62-2760
倉石橋月羹 陶花苑	0178-77-2715
産直	0178-62-6962
ふれあいの市へ	0178-61-1815
JAこのへ直売所	0178-62-5511
五戸まきは温泉	0178-62-5511
旅館・倉石	0178-62-6800
はり野みそ汁交流センター	0178-62-2211
たんぼのゆっこ(宿泊なし)	0178-62-2271
倉石温泉(宿泊なし)	0178-62-3264
倉石旅館(宿泊なし)	0178-77-3264
五戸町役場	0178-62-2111(併)
公民館	0178-62-5111
歴史資料センター(五戸町図書館)	0178-61-1040
五戸町立公民館	0178-62-5111
五戸総合病院	0178-61-1200
五戸市の見どころ	090-7067-9370(鳥谷部)
ひばり野タリツ園	090-1800-1288(平蔵)
正子のチヨウリツ公園	090-7067-9370(鳥谷部)

このへ夏まつり

五戸町は坂の多い街。街のあちこちには、坂名の多し「このへ夏まつり」の方向案内板に設けられています。

このへ夏まつり

五戸町は坂の多い街。街のあちこちには、坂名の多し「このへ夏まつり」の方向案内板に設けられています。

年間イベント・見どころ